

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：九州地方整備局 道路部 地域道路課

担当課長名： 的場 真二

事業名	しゅうちゅうほうどうさじきばらこもだせん さじきばらかくふく 主要地方道棧原小茂田線 棧原拡幅		事業区分	主要地方道	事業主体	長崎県			
起終点	ながさきけんつしましいづはらまちさじきばら 自：長崎県対馬市厳原町棧原		ながさきけんつしましいづはらまちかみさと 至：長崎県対馬市厳原町上里		延長	1.3km			
事業概要	主要地方道棧原小茂田線は対馬市厳原町棧原を起点とし対馬市厳原町小茂田に至る路線であり、一般国道382号と主要地方道厳原豆酸美津島線とを連絡する重要な幹線道路である。また、本路線は対馬島の中心部である厳原地区とその西側の集落である小茂田地区の連携を図る道路として、また地域の生活にとっても不可欠なものであり、L=1.3kmについて2車線道路の改良工事を行うものである。								
H8年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)		H9年度用地着手		H10年度工事着手				
全体事業費	約14億円		事業進捗率	87%	供用済延長	0.68km			
計画交通量	1,400台/日								
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.7 (残事業) 4.3	総費用 (残事業)/ (事業全体) 5/15億円 (事業費：4/14億円 維持管理費：1/1億円)	総便益 (残事業)/ (事業全体) 21/26億円 (走行時間短縮便益：20/25億円 走行費用減少便益：1/1億円 交通事故減少便益：0/0億円)	基準年 平成17年					
感度分析の結果	残事業(事業全体) 交通量変動：B/C=4.9 (1.9) (交通量+10%) B/C=3.9 (1.5) (交通量-10%) 事業費変動：B/C=3.4 (1.6) (事業費+10%) B/C=6.0 (1.9) (事業費-10%)								
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 物流効率化の支援（重要港湾厳原港、地方港湾小茂田港、対馬空港へのアクセス向上） 安全で安心できるくらしの確保（二次医療施設対馬いづはら病院へのアクセス向上）他4項目に該当 								
関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民及び対馬市より整備促進の要望が行われている。 								
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> 平成16年3月に対馬島内6町が合併し対馬市となった。 								
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成17年度末までの進捗率は約87%であり、約680mを部分供用している。残事業は約620mあるが、うち約400mについて平成18年度中に供用予定である。								
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	本工区の用地買収は着工当初より筆界未定等で交渉が難航していた。しかし、本年度には筆界の確定が出来る見込みであることから本年度中の用地取得を予定しており、平成19年度における事業完成を目指している。								
施設の構造や工法の変更等	道路計画幅員の見直しを行い、幅員を6.0(10.0)mから5.5(8.95)mに縮小した。								
対応方針	事業継続								
対応方針決定の理由	島内の幹線道路として、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。								
事業概要図	<p>位置図</p> <p>再評価箇所</p> <p>再評価箇所(事業中) L=0.40km</p> <p>供用箇所 L=0.55km</p> <p>再評価箇所(事業中) L=0.22km</p> <p>供用箇所 L=0.13km</p> <p>全体計画 L=1.30km W=5.5(8.95)km</p> <p>終点</p> <p>凡例</p> <table border="1"> <tr> <td>供用中</td> <td>再評価箇所(事業中)</td> <td>うち供用箇所</td> </tr> </table>						供用中	再評価箇所(事業中)	うち供用箇所
供用中	再評価箇所(事業中)	うち供用箇所							

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。